

令和3年度 3学期避難訓練

2月16日（水）火災発生を想定した避難訓練を実施しました。
朝から風雪の空模様で寒い一日となりましたが、授業担当者の誘導のもと
真剣に取り組み意義ある訓練としました。



避難完了後、教頭先生からは「煙の危険性」と「ハザードマップ」について話がありました。火災で恐ろしいのは、炎より煙。火の動きより煙の動きが速く、被害が大きくなる場合も、煙による一酸化炭素中毒や窒息が原因となる場合が少なくありません。煙の特性を知り、発生した火災に的確に動けるようにすることが大切になります。



ハザードマップは、自分の住んでいるところで災害が発生した時に、安全かつ速やかに避難できるよう、その内容を事前に理解して活用するものです。

ことに、河川の氾濫、堤防の決壊といった水害時の被害を最小限に食い止めることを目的として浸水が予想される区域や避難場所、避難経路などの各種情報を誰が見てもわかりやすいように、地図上に表してあります。

万が一災害発生時には、正確な情報と周りの人との協力をしながら対処することが大切である、と結んでいただきました。